

皆さん おはようございます  
12番 社民党 藤田誠でございます。

質問の前に意見を述べます。  
まず、昨日行われた、県内職域自治体対抗駅伝大会で、2位に大差をつけて  
青森市役所チームが8連覇を果たしました。心から御祝い申し上げます。

さて、青森市内の経済について  
阿倍総理は先般、アベノミクスを再加速させると言っていました。アベノミ  
クスの矢はずでに地面に落ちているものと思いましたが、まだどこかを飛  
んでいるようです。

政府の経済対策はこれまでのように、大企業のさらなる減税等で大もうけを  
し、労働者へはわずかなベースアップでごまかし、さらなる、企業内貯金を増  
やし、役員・株主への利益の分配が行われています。

政府から放たれた矢の多くは大企業が捕まえ、少しは青森にも矢は飛んでき  
ていることと思いますが、アベノミクスの経済対策の恩恵は、青森市内のどこ  
にあるのか、私のところには、アベノミクスさん、は来ていただけてい  
ません。

先般、しばらくぶりで、家内と、あったかい、そばを食べに行きましたが、  
器が小さくなって、量も減ったと嘆いていました。

また、スーパーで買い物をする、容量・容積が小さくなって、実質値上げ  
になっている感じがしています。

富裕層の金融経済対策は成功をしているのかも知れませんが、生活は3年半  
前より暮らしにくくなっていると感じます。

私の生活感からすると、アベノミクスを評価されている方に、恩恵が集まっ  
ているのか、私のはるか遠くに、矢が落ちているのか、青森市へのアベノミク  
スの経済効果は見当たりません。バブルの時のように、地方の多くの市民の  
皆さんに効果が届かないうちに消滅してしまっただけで、残念です。

さて、アウガについて、今般の修繕積立金の使い方を、アウガ店舗共有者協  
議会の中で見直しをすることを決めよう、見直しの理由の一つとして経  
営破たんを備えてと答弁がされていました。

市は修繕積立金について、議会から意見を貰うとしていますが、これまでの  
議論で、すでに市から支出されたものに、議会での議決案件にはならないと推  
察できました。

アウガの修繕積立金を本来の目的以外に使うことは、人間に例えれば、老後  
の蓄えを生活費の補填に使って、無くなれば、誰かの世話になろうとしている  
のか。また、体のケアのためのお金を、収益の悪化という病気の治療に使おう  
としているのか、まさに末期の対策と言わざるを得ません。

どちらにしても、修繕費を使ってしまうと、市所有後に、アウガの修繕費用  
を市が負担しなければなりません。

こうしたアウガの経営内容の情報が議会等で出されるたび、多くの市民の方  
々にアウガの経営状況に関心をもっていた事は有意義でしたが、そのた  
び、収支状況が悪くなっている現状を踏まえれば、早期の決断が、次につな  
がると思います。

中心市街地の核的施設として、市民のため、存続し生き続けるには、修繕積  
立金の流用を行い、一時的に危機を回避・延命し、一発逆転を狙っても、現状  
では収支改善につながらないと感じます。

すでに深みにはまっていますが、深みから抜け出すには、一日も早い判断を  
する決断が求められています。

その事によって、関係者が現時点での最善策で決着できるものと思います。

それでは、通告に従い、一問一答での一般質問いたします。

最初に、新庁舎整備について、これまでの答弁で、10階建てで現場所に立

てる計画内容で実施する事が決まったと思っておりましたが、そうでもないのか、市の答弁を聞いているとモヤモヤとはつきりしないと感じています。

そこで、新庁舎の整備について、現時点での市の方針を、お示し下さい。  
(これまでの答弁と重なってれば省略して下さい)

次に、市民病院について、前回、院内保育について質問させていただきました。

院内保育を実施するには設置場所がなく、病院建て替え時期に検討すると  
の事でしたが、市民病院の建て替えの予定もなく、見通しの暗い答弁でした。  
設置場所が課題であれば、他都市においては、隣接する公園内に設置した例  
も聞きました。周辺企業との連携等、方法論は多々あると思います。

看護師さんから某病院を参考にとあったので、隣接する駐車場に設置されて  
いた。院内保育・病児保育所を見てきました。  
保育事業・病児、病後児対策・放課後児童対策事業のうち、青森市が実施し  
ていないのは、院内保育事業で、その他の子育て支援策に対する姿勢は優って  
いると感じました。

私は、市当局に院内保育の必要性は充分認識されたと思っておりますが、青森  
市の看護師を含む病院勤務者は冷遇されているのではと感じます。そこで、改  
めと伺いますが、市民病院における院内保育の実施について、現在の検討状況  
をお示し下さい。

次に、避難所の現状について質問します。

熊本大地震の被害に遭われた方々に、心からお見舞い申し上げます。

未だに1名の行方不明者がおられ、余震が続いていますが、発災後の現地か  
らの報道に、障がい者に対する記事がしばらくなかった事から、中越地震・東  
日本大震災等の大災害を経験し、被災自治体で障がい者への避難所対応が良好  
になされているものと思っておりましたが、残念な事にその後、一部の障がい  
者への避難所内での配慮が不足したとの報道がされました。

障がい者の保護者の一人として、やっぱり難しい課題なんだなと再認識させ  
られました。

公助に期待をしながら、最後は自助、自分たちで子どもを守るための方策を  
考えなければと思っています。

自治体では障がい者のための避難所対策を最大限考慮していますが、熊本地  
震において、福祉避難所の運営を適切に行う事ができなかつたと聞いています  
が、青森市における福祉避難所の開設・運営方法について、お示し下さい

また、今般の大地震において、避難所運営が適切に行われた地区が報道され  
ていました。

神戸新聞には、熊本地震の本震で震度7の揺れに見舞われ、住宅1431棟  
が全半壊した熊本県西原村(約2500世帯)。直下で地震を引き起こした布  
田川(ふたがわ)断層帯の危険性は以前から指摘され、住民はいざというとき  
の態勢づくりを進めてきた。

その結果、素早い救助や安否確認、住民主体の避難所運営が実現。発生から  
1カ月がたつ中、「訓練が役に立った」との証言も相次ぎ、広がる連帯感が復  
興の原動力になっている。と記載されておりました。

まさに、日頃の訓練が活かされた例だと思えます。

そこで、市で実施している避難所開設や運営のための訓練の実施状況につい  
て、お示し下さい。

最後に公用車の交通安全対策について 質問します。

他都市を視察した際、多くの自治体の公用車へ、車両の前方を動画で記録す  
る、ドライブレコーダーが設置されていることに気がつきました。

私自身も、ドライブレコーダーを装着し何年も経ちますが、安全を意識する  
ようになった事や、事故時の無用のトラブルを避けるため、今は家族の車にも

装着をしています。

公用車を運転する際の安全意識向上と交通事故発生時における事故原因の早期解明を図るため、公用車にドライブレコーダーを設置すべきと思いますが、市の考えを、お示し下さい。

以上、壇上からの一般質問を終わります。  
ご静聴 ありがとうございました。